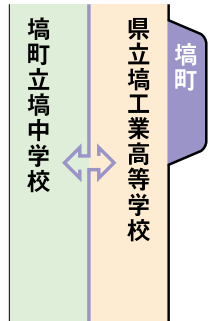
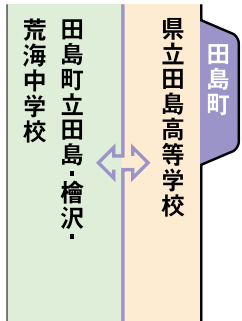


どんな連携？

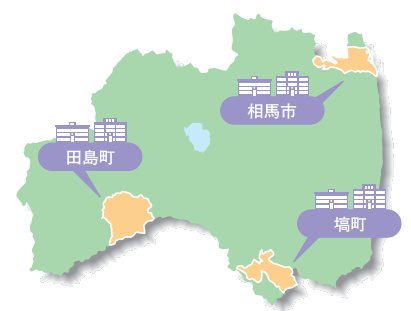
～三地域での取り組みの概要～



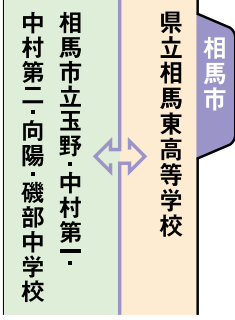
基礎学力の向上に向け、英語・数学・国語について週二日、高校の先生が中学校で授業をします。技術家庭科の技術部分についても指導します。また、工業高校の施設を活用して「ものづくり教育」を行い、ものをつくる楽しさ、技術の重要性についても中学生に体験してもらう予定です。



基礎学力の充実強化に向け、高等学校の先生が週に一回、英語と数学の授業を行います。環境や福祉など特徴ある高校の授業と中学校の「総合的な学習時間」を連携させます。



さらに朝の読書や中高合同の芸術鑑賞会などを通じ、人間性や社会性を育みます。



県立相馬東高等学校では、各中学校へ週一回、英語と数学の先生を派遣して授業を行います。この二教科以外にも中学校ごとに音楽や書写などの科目で連携します。

同校は、人文科学、自然科学、生活福祉など7つの系列を持つ総合学科高校。それぞれの科目を中学校の「総合的な学習の時間」で見学するなどの取り組みも進めます。



私こう思う ～地元の声～

連携型中高一貫教育が始まる
三地域にお住まいの皆さんにご意見を伺いました。
皆さんはどうお感じになりますか？

- 「中高が提携することで子どもが早くから馴染めるのがいいと思う。学力向上を期待したい。ただ、連携高校以外に進学する場合はどうなるのかが気になる。」 **上田 佳子**さん(相馬市)
- 「県南地域の教育レベルの底上げや、頑張る子どもに充実した教育をする点でよい試みだと思う。歓迎する。」 **吉田 泉**さん(埴町)
- 「連携高校に進みたいのであればメリットもあるだろうが、そうでなければあまり関係ないのではないか。」 **斉藤 昭男**さん(埴町)
- 「将来の仕事・進学などを見据えて中学校から考えていくのは良いこと。中学校と高校が連携することで互いの様子が分かることは教師にとっても生徒にとっても有意義ではないかと思う。」 **飯塚 敏明**さん(田島町)

Interview

地域全体の学力の向上につなげたい



県立埴工業高等学校
校長 小菅 富士雄

我々としては、基礎学力の向上を図るほかに、連携中学校の皆さんにもものづくりの楽しさや素晴らしい体験してほしいと願っています。そうした経験をきっかけとして、ものづくりに魅力を感じた生徒さんが連携高校に来てくれればありがたいことです。また、別の進路を希望する生徒にとっても、ものをつくる技術は社会を支える重要なもの。経験しておくことは将来どんな分野に進むにせよ決して無駄にはなりません。

せっかく力を注いで教えた中学校の生徒がその結果、別の高校に進んでしまっは…という意見もありますが、もっと広い視点に立って考えないと。中高一貫教育によって地域全体の学力の向上につながれば、それは喜ばしいことです。